

## 市発注の土木工事における予定価格の誤りについて

北九州市が発注する土木工事において、北九州市土木工事積算システム（以下「積算システム」という。）で使用する一部の単価に改定漏れがあり、その単価を使用した工事の予定価格が過少に設定されていることが判明しました。

ご迷惑をおかけした皆様にお詫び申し上げるとともに、再発防止に努めてまいります。

## 1 概要

積算システムにおける、令和7年10月改定版の単価について、令和7年12月17日に外部からの問い合わせがあり、一部の単価において、改定前の単価を積算システムで使用していることが判明した。

これにより、令和7年10月以降に、該当する単価を使用して工事費を算出した34件の土木工事において、予定価格が過少<sup>※</sup>となる誤りが確認できた。

このうち、予定価格を公表していた13件の工事（別紙）においては、応札者へ正しい判断の機会を提供できず、入札価格に影響が及んだ可能性がある。

※1工事当たり1,000円～45,000円（平均で約16,000円）

## 2 原因

技術管理課が、単価を最新のデータに更新する際に、道路区画線に使用する材料単価の一部において改定漏れがあり、改定前の単価をそのまま積算システムに登録した。

その結果、この単価を用いた工事の予定価格が過少となつた。

## 3 入札参加者への対応

既に契約している工事については、請負工事契約としては有効なものとして、現契約を継続するが、予定価格の誤りにより、応札者の判断に影響を与えた可能性もあったことから、それらの工事の応札者（13件、99社）に対し、予定価格の算出において誤りが発生した経緯やお詫びを掲載した文書を発送した。

## 4 再発防止策

単価改定等に伴うシステム変更を行う際には、新旧のデータを照合するツールを新たに導入するとともに、チェック機能の拡充を行うなど、体制の強化を図る。

さらに作業プロセスを再点検してリスクを洗い出し、チェックリストに反映するなど、複数の対策を組み合わせ、再発防止の取り組みを進める。

（参考）

「予定価格」：入札時の落札者決定のための上限額  
「北九州市土木工事積算システム」：土木工事の予定価格の基となる設計金額を算出するためのシステム

### 【問い合わせ先】

技術監理局技術管理課  
担当 武宮（課長）、<sup>戸来</sup>（係長）  
電話 093-582-2045

## 対象の13件の工事リスト

工事名
港湾メンテナンス太刀浦白野江道路舗装補修工事（7-2）
国道198号ほか（桟橋通り交差点）区画線等設置工事
猿喰92号線舗装補修工事
太刀浦コンテナターミナル舗装補修工事（7）
田野浦1号道路舗装工事（7）
門司行橋線（吉志四丁目）舗装補修工事
西港町2号線舗装補修工事
弁天町東篠崎1号線舗装補修工事（7-1）
上石田堀越1号線舗装補修工事
門司行橋線（中曾根東一丁目他）舗装補修工事
本城四丁目配水管布設替工事
令和7年度 中原戸畠1号線舗装補修工事
令和7年度 西大谷2号線舗装補修工事

※ 入札参加者への個別のお問い合わせは、お控えください。